

産学連携学会×東京医科歯科大学 合同主催

特定非営利活動法人 産学連携学会

平成29年度秋季シンポジウム

「医療イノベーション創出に向けて、
産学官連携の在り方を事例から考える」

2017年 **11月7日** (火)

13時15分～18時15分 (受付開始：12時30分～)

※意見交換会 18時30分～20時00分

東京医科歯科大学 あるめいだ

東京医科歯科大学 M&Dタワー2F

鈴木章夫記念講堂

どなたでも
無料で参加
できます
(意見交換会は
4,000円)

募集人数

シンポジウム 150名

意見交換会 70名

※どちらも定員になり次第、締切と致します

お申込み方法

下記URLからお申し込みください。

URL <http://kokucheese.com/event/index/488437/>

申し込み日限：平成29年10月31日 (火)

本シンポジウムはCPD (継続的専門能力開発研修) 単位認定
の対象事業です。

詳細は <http://www.j-sip.org/cpd.html> をご覧ください。

【主催】

特定非営利活動法人 産学連携学会
東京医科歯科大学

【後援】

医療系大学産学連携ネットワーク協議会(medU-net)・

地域活性学会

一般社団法人日本知財学会

日本ベンチャー学会

研究・イノベーション学会 (旧：研究・技術計画学会)

プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

産学連携学会 × 東京医科歯科大学 合同主催
特定非営利活動法人 産学連携学会 平成29年度産学官連携秋季シンポジウム

「医療イノベーション創出に向けて、

産学官連携の在り方を事例から考える」

プログラム

- 13:15-13:20 開会挨拶 東京医科歯科大学 理事・副学長（産学官連携・研究担当） 渡邊守
13:20-13:30 趣旨説明 産学連携学会長 静岡大学 理事 木村雅和
13:30-13:40 来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課長 松岡建志
- 13:40-14:30 基調講演 1
「世界初・糖鎖を使った肝繊維化診断システムの実用化
—糖鎖基盤研究から診断薬商品化までの道程—
～第14回産学官連携功労者表彰経済産業大臣賞受賞～
産業技術総合研究所 創薬基盤研究部門・糖鎖技術研究グループ・招聘研究員 成松久
シスメックス株式会社 第一エンジニアリング本部 本部長 高浜洋一
○座長：静岡大学 理事 木村雅和
- 14:30-15:00 特別講演
「短命県返上から世界人類の健康づくりへ：弘前大学COIの挑戦」文部科学省COI事業
弘前大学 教授・副理事(研究担当) / COI研究推進機構・戦略統括 村下公一
○座長：高知大学 准教授 石塚悟史
- 15:00-15:15 <休憩>
- 15:15-16:45 事例紹介・政策紹介
I 慶應義塾大学 医学部 総合医科学研究センター 参事 仁賀建夫
経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業研究官
「産学医連携の新しいモデルについて
—JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター—」
II ヤマハ株式会社 執行役 IMC事業本部長 藤井茂樹
「音響・音楽と医学の産学パートナーシップ」
III 経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室長 飯村亜希子
「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン・ファクトブック」
IV 文部科学省 科学技術・学術政策局産学連携・地域支援課 大学技術移転推進室長 村瀬剛太
「オープンイノベーションの促進に向けた取り組み」
V 日本医療研究開発機構 知的財産部長 岩谷一臣
「AMED知的財産部による導出支援施策について」
○座長：山形大学 教授 小野浩幸
- 16:45-17:00 <休憩>
- 17:00-18:00 基調講演 2
「日本発の医療機器開発の現場と将来展望」
東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 主任教授 村山雄一
○座長：東京医科歯科大学 教授 小池竜二
- 18:00-18:15 総括
シンポジウムオーガナイザー東京医科歯科大学 教授 産学連携学会副会長 飯田香緒里

アクセス

東京医科歯科大学

M&Dタワー2F 鈴木章夫記念講堂

東京都文京区湯島1-5-45 <http://www.tmd.ac.jp/outline/access/>

- 最寄り駅：JR 御茶ノ水駅(徒歩3分)
- 東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅(徒歩3分)
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅(徒歩5分)



お問い合わせ 産学連携学会本部事務局 (担当：岩瀬・須藤)

TEL：080-4203-5165 FAX：042-490-5727 E-mail：j-sangaku@j-sip.org